



知性

健康

自主



校章のモチーフ しらね葵

《学校教育目標》

『優れた知性を持ち、健康で心豊かな たくましい生徒の育成』

寒河江市立陵西中学校 学校だより  
2023.2月上旬号 文責：校長 小野 行彦

# 試練の三年生へ「入試激励会」

いよいよ、三年生にとって中学校最大の関門の高校入試がスタートです。(学校だよりが届くころは、すでに始まっています)それに先立って、1/13の全校朝会時に生徒会が主催した「入試激励会」が行われました。激励会では、一・二年生各学級が制作した「応援メッセージ」が送られ、生徒会長の大沼さんからは激励で、「一人一人精一杯頑張ってきたのだから大丈夫。先輩たちを一・二年生も後ろから応援している。受験は団体戦。」と、心のこもった激励の言葉が送られ、三年生は決意も新たにされた表情のようでした。



これまでドキドキした経験はたくさんあったと思いますが、今回のその心の激しい鼓動は、これまでとは全く別のものと感じている人もいることでしょう。それくらい三年生のみなさんにとっては、この受験は高く重く感じる試練ではないでしょうか。この一年、人によっては中学校に入学してからずっと頑張ってきた人もいるかもしれません。だからこそ、緊張しないはずはないのです。無理に「緊張しないで頑張ってください」などとは言いません。だれでも緊張するものだと割り切って、時間の限り答案用紙や、面接官の質問に自分らしく答えてきてください。大事なものは、自分を支えられるのは最後は自分ということ。「物事成功するかしないかの一番の違いは途中で諦めるか、諦めずにやり通すか。」です。自分を信じて、最後まで諦めずにやり抜くことです。これまでひた向きに努力してきた君たちなら大丈夫です。全員の合格を心から信じています。(校長 激励のことば)

## 新春書初め

金賞作品



〔伊藤華恋さん〕



〔真木飛鳳さん〕



〔尾形亮祐さん〕



〔佐藤煌大さん〕



〔高橋莉琉さん〕



〔軽部晃輝さん〕

# 始業式 学年代表3学期の抱負

## 「3学期頑張ること」

一年 佐藤 暖馬



私たちが今学期頑張りたいことは三つあります。二学期の学年の振り返りでの話し合いから、「挙手発言の積極性」「時間を守る」「家庭学習の向上」についてあげられました。そこで、冬休み期間中にリーダー研修会を行い、これからの具体的な取り組みについて自治会で話し合いました。一つ目の「挙手発言の積極性」については、学年を通して挙手発言マッチを2回行うことに決めました。クラス対抗でその日に発言した回数で競います。目標は、この取り組みがなくても、積極性が上がることです。二つ目は、「時間を守る」取り組みです。チャイム着席についての受け取り方が一人一人違ったので、それを統一し教科係や自治会を中心に呼びかけをしていきます。三つ目は、「家庭学習の強化期間」を設けることです。「真似する、すぐやる、質の高い」を合言葉に、優れた自学ノートを掲示したり、テキスト学習に積極的に取り組むなど家庭学習の質を高めていきたいです。この三つの取り組みを進めることで忙しい三学期になりそうですが、学年全体で頑張って二年生になる準備ができる学期にしたいです。

## 「3学期に向けて」

二年 高橋 岳玖



私は、この3学期に個人として頑張りたいことが大きく二つあります。一つ目は、主体的に行動することです。私は3学期から学級委員として活動していきます。クラスのみんなからの信頼を得るために、何事にも自分から率先して行動していきたいです。特に、挨拶や時間を守ることなどの当たり前のことを確実にを行い、自分の発言や行動に責任をもっていきたいと思っています。二つ目は、学習についてです。この3学期に自分の苦手な教科や単元を少しでもなくしたいと思っています。そのために家庭学習の時間を大切にすることがあります。私は、自学に教科の偏りがあるので受験テキストを有効に使って学習したいです。また、テストで些細なミスをしてしまうので、繰り返し見直しを行い、ミスを減らしていきたいです。学年として頑張っていきたいことは、学年目標の「ポジティブ」に近づけることです。そのために、自治会で意見を出し合いながら、三年生につながるような活動を行っていきたいです。また、私たちが学校をリードする立場になるので、そのための準備を計画的に進めていきたいです。そして、お世話になった三年生の先輩方に少しでも安心して卒業してもらえよう、二学年全体で力を合わせて生活していきたいです。

## 「3学期の目標」

三年 鈴木 諒汰



私には中学校を有終の美を飾れるように達成したい目標が二つあります。一つ目の目標は三年一組のクラス目標である「凡事徹底」です。意味は当たり前のことを徹底して実践することです。この目標を達成するために、私は積極的な行動を心がけます。具体的には、相手より先に挨拶する、提出物を期日までに出すなど常に必要とされていることをいつでもできるようにします。二つ目の目標は三年生の学年目標である「We can jump～五つの山を乗り越えろ～」です。この目標を掲げ、運動会、地区総体、修学旅行、陵西祭の四つの山を学年全体で協力して乗り越えてきました。三学期を迎えた今、最後に越える五つ目の山は受験です。今までは色々な協力や団結のもと、クラスや学年、学校全体で乗り越えてきました。しかし今回は、自分だけの力で山を乗り越えなければなりません。そのために私は、三年間の復習を完璧にします。私自身の夢を叶えられるように時間をかけて努力します。三か月後、私たち三年生は卒業し、それぞれが自分の道を進むこととなります。陵西中学校の良き伝統を先輩たちに引き継げるよう三学期を過ごし、有終の美を飾って三年生を終われるようにしましょう。私も、二つの目標を達成できるよう努力します。

# 令和4年度 学校評価報告

## 【学校評価の目的】

- ① 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。
- ② 各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域との連携協力による学校づくりを進める。
- ③ 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図る。

## 【学校評価の実施手法】

- ① 生徒・保護者のアンケート等を資料にして、学校の教職員が行う。・・・《自己評価》
- ② 保護者、地域住民等の学校関係者によって構成された評価委員会（本校では「学校運営協議会委員」）が、自己評価の結果について行う。・・・《学校関係者評価》

## 教職員 《自己評価》

[A:よく当てはまる B:概ね当てはまる C:どちらかという当てはまらない D:当てはまらない]

学校教育目標に関して		A+B
1	(1) 知性：「論理的に思考し表現する力」を育てている	88%
	(2) 健康：「見通しを持ってたくましく取り組む力」を育てている	81%
	(3) 自主：「目的を持って発信する力」育てている	93%

<b>経営の方針に関して</b>			
2	(1)	生徒誰一人として取り残さない指導の推進について	87%
	(2)	時代の進化に対応した授業改革の推進について	80%
	(3)	目指す姿を共有した協働性の高い教職員集団の育成について	100%
	(4)	家庭・学校・地域が一体となって、より良い教育環境の実現に取り組む	79%
	(5)	命最優先の行動による安全な教育実践について	100%
<b>本年度の重点</b>			
3	(1)	「主体的に学び協働的に取り組む、優れた知性を持った生徒の育成」の総合評価	88%
	(2)	教育活動全体を通じた、健康で心豊かなたくましい生徒の育成の総合評価	94%
	(3)	豊かなかかわりの中で育む柔軟で温かい人間関係の育成	92%
	(4)	信頼される学校づくりの推進	92%
<b>「教師と子どもが十分に向き合う教育の推進をめざして」</b>			
4	(1)	取り組む前と比べて、授業の計画・教材研究、準備などの時間を確保できるゆとりができましたか？	65%
	(2)	取り組む前と比べて、生徒指導や教育相談、特別な支援を必要とする子どもへの対応など、一部の教師にかけることなく、チームで体制を整え、組織として様々な課題に取り組むことができるようになりましたか？	50%

### 【自己評価の考察】

#### ◇1・2について

学校教育目標を達成するための育成を目指す資質・能力に関しては、「知性」「健康」「自主」すべての項目においてB以上と評価したことは、それぞれの力が生徒たちに一定以上育まれてきていると観ることができる。本校の教育の根幹ともいえる(1)の項目が昨年比+17%の数値であったことから、本校教職員の有言実行力の高さがうかがえる。今後、大きく変化する時代を生きていく生徒の「生きる力」育むためにもICT機器の活用における授業改善、ウィズコロナにおける積極的に創造的な地域に出での教育活動を推進いきます。

#### ◇3の(1)について

総合評価の「ほぼ達成された」以上が9割弱になった大きな成果と捉えている。特に、先生方の日々の具体的な手立てには先生方の他校以上の丁寧さと細やかさが見られた。今後も生徒の主体性を育むために、自分自身をコントロールしながら多角的な支援をコーディネートしながら育成していきたい。

#### ◇3の(2)について

「たくましい生徒」の育成に関して、総合評価において昨年度(84%)より10%上がったことは、大きな成果であると考えている。今後は、生徒自身の創造的で主体的な生活のためにも、「SNSの適切な活用」、「安全」に向けた自律した行動としての「陵西五心」の実践力向上に向けて指導していきたい。

#### ◇3の(3)について

総合評価で9割を超える結果であった。上記の表では詳しい項目は割愛していますが、「柔軟で温かいかかわりを育む活動」、「自己指導力(自律)」、「心に響く道徳」、「いじめや不登校、問題行動等のない学校づくり」の項目が高い数値であったことは、教職員が日々の学校生活の中で生徒たちに適切なかかわりの中で温かい人間関係を構築させようと、実践してきた結果であると考えている。

#### ◇3の(4)について

コロナ禍に陥って3年目を迎えた今年度は、新型コロナウイルスの特性を踏まえながら感染対策をし、生徒並びに各家庭の協力を得ながら教育活動が動き出した結果、総合的な評価の数値が上がった(昨年度85%⇒92%)と考えている。今後も総合的な学習を中心とした、1年時「地域を知る」、2年時「地域に学ぶ」、3年時「地域に貢献」の系統性ある学習を通して、未来に向けた「総合的な学習」の充実を目指していく。

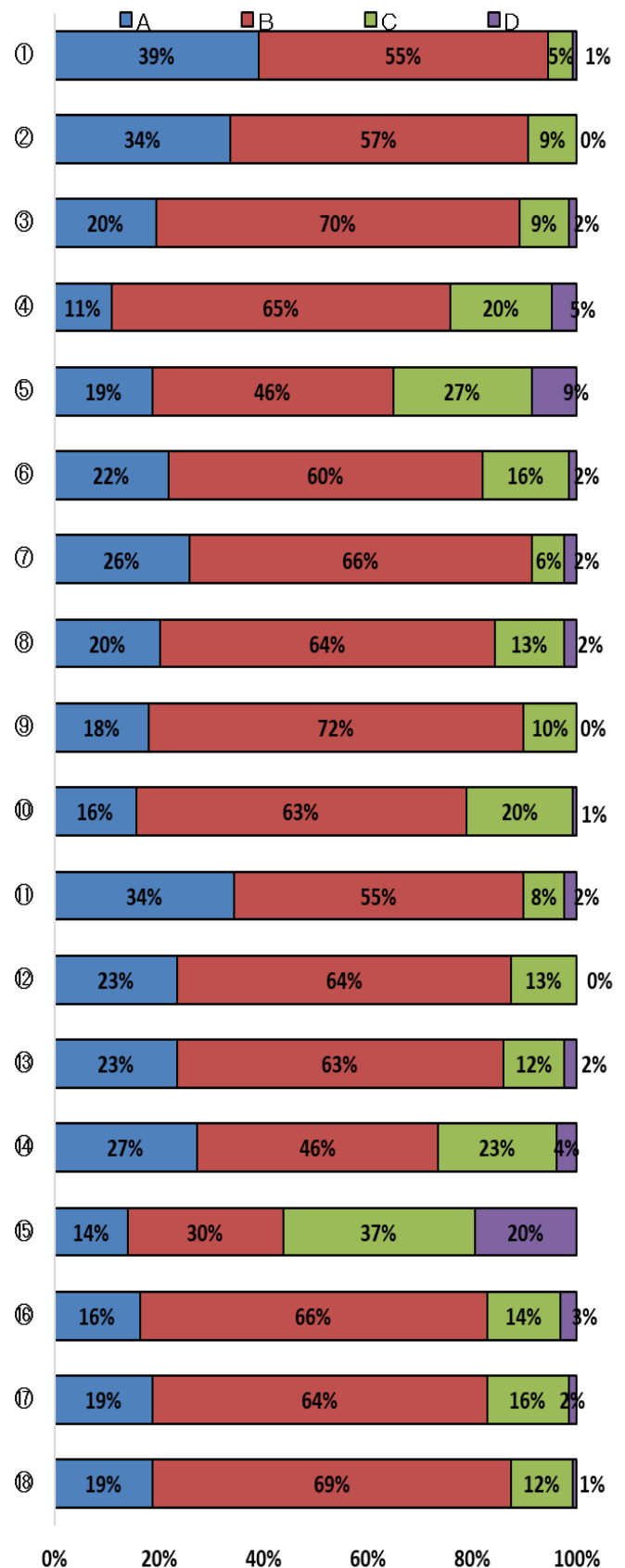
#### ◇「教師と子どもが十分に向き合う教育の推進をめざして」について(働き方改革)

ウィズコロナへ移行し、社会が加速度的に動き出す中、学校現場においては感染対策の徹底と学習活動の保障・充実、並びにICT機器等を活用した個別最適な学び、さらには、本校の柱である「生徒誰一人取り残さない指導の推進」と、待ったなしの課題に向けた業務による多忙化に陥っていることは否めない状況である。今後も「令和の日本型学校教育の構築～すべての子どもの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」に向けて、「二項対立」の考えに陥らず、最上位に生徒の幸せを据え、教職員の幸せも両立できるように教職員とも熟考しながら進めていく。

# 令和4年度「学校評価」

# 保護者アンケートまとめ

学校運営評価アンケート		A+B (%)
1	学校は教育方針や学校の様子を、「学校だより」や「学年・学級通信」等でわかりやすく伝えている。□	95%
2	生徒は、きちんとあいさつができています。□	91%
3	教職員は、積極的に生徒や保護者・地域の方々とかかわりながら、意欲的に教育活動を行っている。□	89%
4	授業を大切にしたい、いい指導により、学力ができてきている。□	76%
5	家庭学習の習慣化が図られてきている。	65%
6	学校は、GIGAスクール構想(一人1台タブレットによる多様な学習)を活用し、生徒一人ひとりの学習の個別最適化に向けて取り組んでいる。	82%
7	生徒一人ひとりを大切に、いじめや不登校、問題行動のない学校づくりに取り組んでいる。	91%
8	「かかわり」を大切に、授業や学校行事等への取り組み、教育相談等を通して、教師と生徒の信頼関係が構築されている。	84%
9	「陵西五心」[ハイという素直な心 スミヤクという反省の心 オカゲサマデという謙虚な心 ワタシガシマスという奉仕の心 アリガトウという感謝の心]が生徒の活動に生かされている。	90%
10	進路決定や社会人として自立できる力の基礎を育てるため、キャリア教育(進路指導や望ましい職業観を育てる教育)が適切に行われている。□	79%
11	生徒の健康や安全に配慮した指導がなされている。(コロナ対応も含む) □	90%
12	生徒会活動が活発に行なわれ、委員会活動やボランティア活動、奉仕活動などがさかんであり、様々な活動に意欲的に取り組んでいる。	88%
13	部活動が適切に行なわれ、自主性やたくましさや粘り強さが育っている。	86%
14	早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身につく、規則正しい生活ができてきている。	73%
15	読書が好きで、進んで本を読んでいる。	44%
16	学校行事や授業参観等を通して、地域や保護者の方々と学校が接する機会を設け、地域や保護者の声を大切にして相談に応じている。(今年度も新型コロナウイルスの影響で制限して実施しました。)	83%
17	学校は、総合的な学習の時間、分団会活動、福祉施設訪問、奉仕活動等を通して、「地域を大切に、地域を愛し、地域を作る生徒」を育てている。	83%
18	校舎内外の施設・設備面での環境整備が適切に行われている。	88%



昨年度、全体的な感想として非常に厳しい評価であったが、今年度については、ほとんどの項目で昨年度の数値を上回った。中でも10%以上の伸びの評価をいただいた項目が、③「生徒と保護者・地域の方々とかかわり」、⑤「家庭学習の習慣化」⑦「いじめや不登校、問題行動のない学校づくり」、⑨「陵西五心」、⑯「学校がいろいろな機会を設けて、地域や保護者の声を大切にして相談に応じている」であった。これらは、今年度本校が重点に掲げている内容のものに関連性が高い項目であることから、本校教職員の日頃の丁寧で細やかな生徒へのかかわりについて、高い評価を得たと考えている。また、①「通信等での情報共有」、⑪「コロナ対策」においてB評価以上が90%を超えたことは、保護者と学校との関係性が、より深い信頼性の構築へ進んだものと考えられる。今後とも、学校の様子や考え、さらには課題についてもお知らせし、今まで以上に保護者の方々の信頼を受けながら、生徒が安心して充実した学校生活を送れるようにしていきたい。